

弘前城菊と紅葉まつりにおける リユース食器活用モデル事業について

1 リユース食器とは

お祭りやスポーツ観戦、音楽フェスといったイベントでは、通常、使い捨てのプラスチック容器が使われています。その結果、イベントの後には、大量のごみが発生しています。

リユース食器とは、1回使うだけでごみになる使い捨て容器ではなく、何度も繰り返し洗って再利用(リユース)できる食器のことで、プラスチック容器のごみ削減に繋がります。

青森県では、本年3月に「リユース食器利用マニュアル」を発行したほか、県内のイベントでリユース食器を使用するモデル事業(プラスチックごみ対策強化事業)を2回実施することになりました。その一つとして弘前市が手上げし、弘前観光コンベンションと協力して、「弘前城菊と紅葉まつり」でリユース食器を使用しました。

※ 県内では、2019年に青森大学の学園祭(環境省とのコラボ)で、2021年にはラインメール青森FCの試合でリユース食器を使用

1回きりでなく、
再利用
できる

プラスチック
容器ごみが
削減できる

繰り返し使用
することで
**環境負荷の
軽減**に繋がる

2 弘前城菊と紅葉まつりにおけるリユース食器の概要

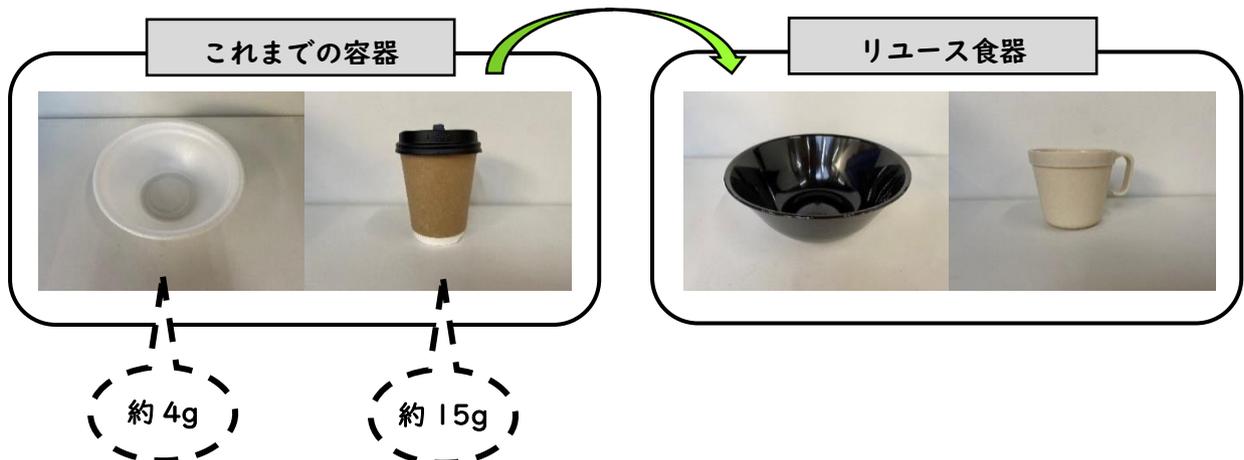
実施期間：令和3年11月1日(月)～令和3年11月7日(日)

対象店舗：弘前観光コンベンションが運営する喫茶店

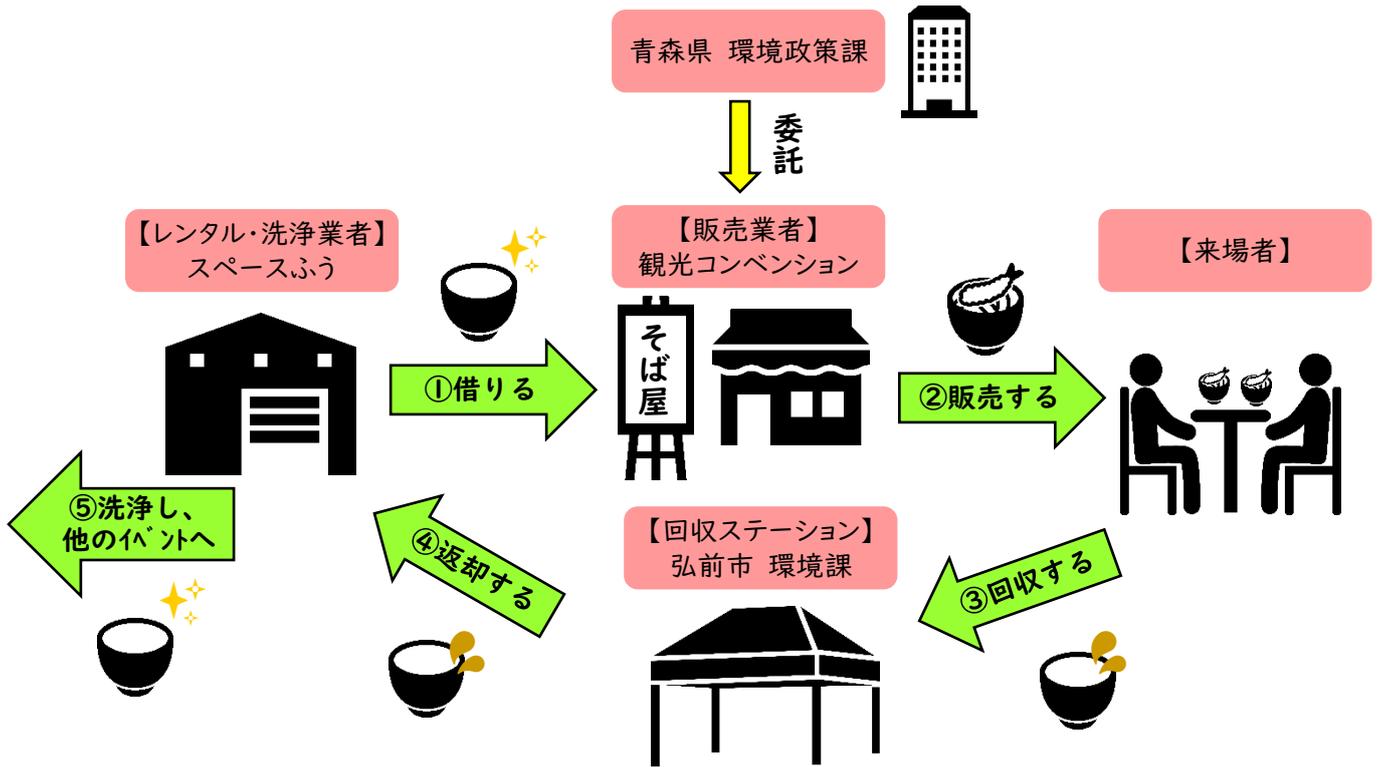
メニュー…そば、うどん、コーヒー、紅茶、アップルパイ
リユース食器を使用

リユース食器レンタル数：そば・うどん用として、どんぶり 1,000 個

コーヒー・紅茶用として、カップ 500 個



3 リユース食器の仕組み



4 回収の工夫

リユース食器はレンタル品のため、食器を紛失または破損させると、レンタル料とは別に超過料金が発生します。このことから、食器を確実に回収できるよう、様々な工夫を行いました。



来場者がリユース食器を持って帰ったり
回収場所を誤らないように
喫茶店の出入口を出てすぐの場所に
回収ステーションを設置



来場者がリユース食器をごみ箱に
捨てないように、回収ステーション内にも
ごみ箱(分別ステーション)を設置し、
ごみは食器を返却した後に捨てるよう
導線を工夫



喫茶店内に多くのポップを設置し、次のことを周知

- ・リユース食器を使用していること
- ・リユース食器の回収は、喫茶店を出てすぐのテント内で行っていること

5 実施結果

●リユース食器の使用数について

・そば・うどん用どんぶり

日にち	使用数	返却数	紛失数	回収率	未使用数 (累積)
11月1日(月)	149	149	0	100%	851
11月2日(火)	152	152	0	100%	699
11月3日(水・祝)	447	447	0	100%	252
11月4日(木)	111	111	0	100%	141
11月5日(金)	141	141	0	100%	0
合計	1,000	1,000	0	100%	0

※ どんぶりのリユース食器は、金曜日の午後にレンタル分をすべて使い切り、以降は従来通りの使い捨てプラスチック容器を使用しました

・コーヒー・紅茶用カップ

日にち	使用数	返却数	紛失数	回収率	未使用数 (累積)
11月1日(月)	24	24	0	100%	476
11月2日(火)	18	18	0	100%	458
11月3日(水・祝)	79	79	0	100%	379
11月4日(木)	28	28	0	100%	351
11月5日(金)	25	25	0	100%	326
11月6日(土)	65	65	0	100%	261
11月7日(日)	41	41	0	100%	220
合計	280	280	0	100%	220

●リユース食器の使用におけるごみの削減量

どんぶり … 使い捨て容器の重さ(4g)×1,000個=4,000g (4kg)

カップ … 使い捨て容器の重さ(15g)×280個=4,200g (4.2kg)

 約 8.2kg のごみ削減を達成!!

●ごみ分別ステーションにおける資源物回収量

ペットボトル … 8.84kg

かん … 4.98kg

びん … 35.90kg

 約 49.72kg が資源に!!